

		1. 見出し	2. 読み方	3. 言い換え語	4. 備考	5. 解説
1	あ	アイヌ系	あいぬけい	アイヌ アイヌ民族	アイヌ系はアイヌ民族に対する強制同化が生んだ言葉	
2	あ	合いの子	あいの子	混血 混血人	慣用的に用いる場合は「足して2で割った」ほどの意か	「あいの子」とは、混血、交雑種（雑種）の事で、人間においては異人種間の男女から出生した子に対して用いる言葉です。しかし人種についての言葉のため、放送禁止用語とされています。
3	あ	青姦	あおかん	野合	屋外で性交すること。意外に知らない人が多い	
4	あ	アカ	あか	共産主義者 共産シンパ		
5	あ	明盲	あきめくら	字の読めない人 非識字者	言い換え語に文盲があるが好ましくない	
6	あ	足切り	あしぎり	予備選抜 二段階選抜	漫画「ラブひな」では、暗示として主人公の足が切れる	
7	あ	足を洗う	あしをあらう	更生する	洗足池（東京）は「日蓮上人が足を洗った」池であり、慣用語として「足を洗う」意はない	
8	あ	当て馬	あてうま	交代要員	野球の場合	
9	あ	アメ公	あめこう	アメリカ人		
10	あ	あらめん	あらめん	初対面	探偵用語	
11	あ	アル中	あるちゅう	アルコール中毒 アルコール依存症	「…中毒」は急性、「…依存症」は慢性のもの	「アル中」とは、アルコール中毒・アルコール依存症を意味します。これらは総じて病気とされていることから、放送禁止用語とされています。
12	あ	按摩	あんま	マッサージ師 あんま師	職業名	「あんま」とは、マッサージ師、あんま師を意味し、昔、視覚障害者が家業としていたのが手技療法（按摩）で、そのうち視覚障害者があんまと呼ばれるようになったようです。現代では、それらが放送禁止用語という専門家も目立ちます。
13	あ	家柄	いえがら		結婚、就職の条件にするような表現は不可	家柄とは、個々の家に対して貴賤の社会的格付けを行うための基準とされている特有の評価観念で、放送禁止用語のひとつで、結婚、就職の条件にするような場合では特にタブーとされています。
14	あ	イカサマ	いかさま	にせもの		
15	あ	躰	いざり	足の悪い人 足の不自由な人		
16	あ	伊勢乞食	いせこじき		なるべく使わない。節儉（ケチ）な伊勢の人をのしっている語	
17	あ	イタ公	いたこう	イタリア人		
18	あ	板前	いたまえ	調理師 板前さん	職業名	
19	あ	いちゃもん	いちゃもん	言い掛かり		
20	あ	田舎	いなか		東京との対比としては使わない。「町の子供。田舎の子供」や、生まれた土地の意味として使う場合は、悪印象を与えないよう配慮し使用する	
21	あ	犬殺し	いぬごろし	野犬捕獲員 狂犬病予防技術員 衛生作業員	職業名。「犬取り」とも	「犬殺し」とは、野犬捕獲員 狂犬病予防技術員を意味し、犬取りとも呼ばれました。革ジャンに黒いサングラスなんかかけている人は、年寄りに「なんだ犬殺しみたいな格好をして」となじられたそうで、今では立派な放送禁止用語です。
22	あ	移民	いみん	海外移住者		
23	あ	イモ	いも	田舎者	なるべく使わない	
24	あ	インチキ	いんちき	ごまかし		

25	あ	インディアン 嘘つかない	いんでいあん うそつかない		比喩表現は不可。「クレタ人は嘘つきだ」はOK。	
26	あ	淫売	いんばい	売春		
27	あ	裏日本	うらにほん	日本海側		かつては、天気予報などで地域を指す言葉として普通に使われていたが、NHKでは新潟県から苦情が寄せられたため、1960年代末頃から差別的・侮蔑的であるとして「裏日本」という用語を使わなくなり、放送禁止用語とされています。
28	あ	うんこ	うんこ	大便 うんち	幼児語の「うんち」は可。2005/10/19「トリビアの泉」でうんこに関するネタが紹介され連呼された。バラエティの文脈では可か	
29	あ	運ちゃん	うんちゃん	運転手		
30	あ	エスキモー	えすきもー	イヌイット		
31	あ	穢多	えた		使わない。特に江戸期、非人とともに被差別階級とされた。ちなみにスペインの反政府組織ETA（バスク祖国と自由）は“えた”と発音する	えた身分は動物の皮をはいだり、染物などの「けがれ」とされたものを扱う人。ひにん身分は、良いことをしたら普通の身分に戻れるのに対し、えた身分はずっとえた身分のまま。掃除や葬送、土木工事、斃牛馬（へいぎゅうば）の処理や皮革業など、「ケガレ」を清める仕事を担っていた「河原者」の異称。
		穢多頭	えたがしら		「穢多」身分を統括した頭	江戸に居住した「弾左衛門（だんざえもん）」は最も勢力があり、東日本の広範囲の「穢多」を支配した。
		穢多村			「穢多」身分の人々が定住した村	自称は「かわた村」「役人村」など、斃牛馬の処理、皮革業、刑吏の下働きや下級警察業務などに従事した。
32	あ	越後の米つき	えちごのこめつき		なるべく使わない	
33	あ	エチゼンクラゲ	えちぜんくらげ	大型クラゲ	福井県水産課の要請によるが、2006/01現在マスコミは自粛していない模様。1920年、同県水産試験場長・野村貫一が新種のクラゲを発見、命名した	
34	あ	エディター	えでいたー	編集者		
35	あ	OL	おーえる	女子社員 女子事務員 会社勤めの女性	「OL」の乱用は避ける	
36	あ	オールドミス	おーるとみす		使わない。和製英語。未婚のまま婚期を過ぎた女性。「負け犬」と同義と考えられるが、負け犬はメディアで大々的に扱われている	オールドミスは、婚期を過ぎても未婚でいる女性を意味し、老婆やハイミスとも呼ばれています。この言葉も放送禁止用語とされ、アラサーやアラフォーなどに言い換えられることが多くなくなっています。
37	あ	オカマ	おかま			
38	あ	沖仲仕	おきなかし	港湾労働者		「沖仲仕」とは、狭義には船から陸への荷揚げ荷下ろしを、広義には陸から船への積み込みを含む荷役を行う港湾労働者の旧称で、日本において今日、「沖仲仕」という言葉は差別的である、とされ、一般の報道などに際しては自主的に「港湾労働者」などに置き換えられて表現されています。
39	あ	唾	おし	口の不自由な人 聾者 ろうあ者		
40	あ	落人部落	おちうどぶらく	落人村	戦等により逃亡した者が住み着いた村の意か ちなみに落武者は	多くは山間部の段丘や、海岸部でも岩石海岸の断崖上などにあって、焼畑農耕によってヒエ、豆類、アワ、トウモロコシ、ソバなどを栽培した。山陰地方の海岸部などに散在する〈平家落人（おちうど）部落〉と呼ばれる集落もこの集落に類します。

41	あ	落ちこぼれ	おちこぼれ	授業についていけない子供 学業・成績不振の子供	やむをえない場合は「いわゆる落ちこぼれ」と表現する	落ちこぼれとは、1970年代から使われた言葉で、特にツッパリブームといわれた1970年代後半に広く普及した言葉で、同時に、不良学生であるか否かに関係なく、授業についていけない生徒という意味合いで使われるようになりました。現在は放送禁止用語としてタブーとされています。
42	あ	落とし前	おとしまえ	金銭の絡んだ決着		
43	あ	溺れ死ぬ	おぼれ死ぬ	溺れて死ぬ		
44	あ	お巡り	おまわり	警察官 お巡りさん 巡査	幼児語としての「お巡りさん」は可とする	
45	あ	表日本	おもてにほん	太平洋側		表日本（おもてにほん）とは、日本の国土において、本州の太平洋や瀬戸内海に面した地域を指す呼称ですが、現在は一般に太平洋側とされています。裏日本と対をなす言葉で、放送禁止用語とされています。
46	あ	親方	おやかた	チーフ 班長	土木関係の語	
47	あ	おわい屋	おわいや	清掃員 作業員	「おわい」は大小便の意	
48	あ	女子供	おんなこども		なるべく使わない。女性や子供を軽んじる意を持つ	
49	あ	女の腐ったような	おんなのくさったような			
50	あ	隠坊	おんぼう	火葬場従業員		隠亡（おんぼう）とは、日本史上において、火葬場で死者の遺体を茶毘に付し、墓地を守ることを業とした者を指す語で、もとは、下級僧侶の役目であり[3]、「御坊」が転じたものと考えられています。江戸時代には賤民身分扱いされていたことや[1]、一昔前まで、この職業は現在で言う被差別部落出身者が大半だったため[要出典]、軽蔑的な意味合いを帯びたことも多いことから放送禁止用語とされてきました。
51	か	外人	がいじん	外国人	「グループ外、縁もゆかりも無い人」が原義	
52	か	蛙の子は蛙	かえるのこはかえる	凡人の子は凡人だ 子は親に似る		「カエルの子はカエル」は、「子供の性質は親に似てしまう」という意味で、「平凡な親から生まれた子供は平凡である」「親以上にはなれない」ととらえられ、放送禁止用語となっています。
	か	化学調味料	かがくちょうみりょう	うま味調味料		化学調味料は、「無化調」（むかちょう）と言い換えられています。
53	か	ガキ	がき	子供		
54	か	確信犯	かくしんはん	故意犯	「故意に悪事を働く」は誤用。宗教・政治的な信念から正しいことと信じてする犯行が本義。ただかなり定着している	
55	か	拡張員	かくちょういん	セールススタッフ セールスマン	特に、インテリが書いてヤクザが売る出版物を売る人を指す	
56	か	拡張団	かくちょうだん	セールスチーム		拡張団（かくちょうだん）とは、セールス集団をさす言葉で、特に新聞のセールスを行う集団を拡張団と呼ぶことが多く、その実態は暴力団や入れ墨は当たり前で、違法なセールスといったイメージが定着していることから放送禁止用語となっています。
57	か	拡張団長	かくちょうだんちょう	セールスチーム代表 セールスチームマネージャー セールスチームリーダー		

58	か	家系	かけい		なるべく使わない。「適性は家系と深くかかわる」などは不可	家系とは、家の系統、ちすじ、血統を意味しており、昔は他の家との生活関連のなかで相互に家系を重視することにより、家の秩序ならびに社会秩序が維持され、身分関係を顕在化させていました。しかし現在では放送禁止用語とされ、「適正は家系と深く関わる」などの使い方はタブーとされています。
59	か	過去帳	かこちょう	檀家の記録		
60	か	ガサ	がさ	搜索		
61	か	かさっかき	かさっかき	性病患者		
62	か	片足	かたあし	片方の足		
63	か	片親	かたおや	母子家庭 父子家庭		
64	か	片手落ち	かたておち	気配りに欠ける 不公平	本来侮蔑語ではないが「片手・落ち」と誤解されるためなるべく使わない	
65	か	片肺	かたはい	片翼	比喩的表現の場合は要注意。双発の飛行機が片方のエンジンしか動かない状態から	
66	か	片目	かため	片方の目 隻眼 独眼		
67	か	片端	かたわ	身体障害者		
68	か	がちゃ目	がちゃめ	斜視		
69	か	担ぎ屋	かつぎや	行商人		
70	か	かったい	かったい	ハンセン病		
71	か	がっぶり四つ	がっぶりよつ	がっぶり	「四つ」が被差別部落を連想させるからか	がっぶり四つ 相撲で、両者がしっかりと四つ身で組み合う（四つに組む）さまを意味し、転じて、物事に真っ向から取り組む様子を言う表現に用いられています。「四つ（よつ）」とは、四つ足→動物→畜生、人間以下の意味で、被差別部落民に対する差別語とされています。そのため、放送禁止用語とされ、「がっぶり」に言い換えられています。
72	か	カッペ	かっぺ		使わない。田舎兵衛（いなかっぺえ）の略。田舎者をさげすんでいう語	
73	か	上方の贅六	かみがたのぜいろく		なるべく使わない。江戸の者が関西人をあざけていった称	
74	か	借り腹	かりばら		うみねこのなく頃に	
75	か	皮被り	かわかぶり	包莖	仮性包莖は日本人男性の6割とも9割とも言われている	
76	か	皮切り	かわきり	手始め	最初に据える灸は皮膚を切るような痛みを感じることから。包莖手術の意はないが卑俗に感じる場合もある	皮切りとは、物事のしはじめや手始めを意味し、最初に据える灸ともいわれています。皮革の皮を剥ぐ行為を連想させることから「手始め」に言い換えられています。
77	か	川向こう	かわむこう		使わない。川を隔てたむこうの岸の意	
78	か	河原乞食 河原こじき☒	かわらこじき	芝居役者	江戸期、歌舞伎が河原で興行されたため。現代において河原に住むホームレスを指す語ではない	中世日本の代表的な被差別民の一種で、平安時代の『左経記』長和5年（1016年）正月2日の記述から、当時、死んだ牛の皮革を剥ぐ「河原人」がいたことが知られています。
31	か	河原者	かわらもの			えた身分は動物の皮をはいだり、染物などの「けがれ」とされたものを扱う穢多（えた）身分人。ひにん身分は、良いことをしたら普通の身分に戻れるのに対し、えた身分はずっとえた身分のまま。掃除や葬送、土木工事、斃牛馬（へいぎゅうば）の処理や皮革業など、「ケガレ」を清める仕事を担っていた。

79	か	看護婦	かんごふ	看護師	「看護士」でなく「看護師」	
80	か	姦通	かんつう	不倫行為		
81	か	キ印	きじるし	精神障害者	使わない。キ印キッド→キャプテンキッド（ひょっこりひょうたん島）	
82	か	キチ	きち	マニア	気遣いの略。釣りキチ→釣りマニア	
83	か	気遣い	きちがい		原則として使わない。「サザエさん」第1話でサザエがカツオに対して言った	
84	か	気遣い沙汰	きちがいざた		絶対に使わない。常軌を逸した行いを指す	
85	か	気遣いに刃物	きちがいにほもの		絶対に使わない。極めて危険性が高い状況を示す慣用句	
86	か	ぎっちょ	ぎっちょ	左利き		
87	か	給仕	きゅうじ	ボーイ 接客係 校務員 校務主事	女工等と同様、時代背景を明確にして使われることがある	給仕（きゅうじ）は、食事時にそばに控えて、飲食物をテーブルに出すなど飲食の世話をすることで、広義には、食事に限らず、雑用を任されることを意味します。
88	か	灸を据える	きゅうをすえる	お仕置き 制裁	東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会が使わないよう要請している	
89	か	狂気	きょうき		なるべく使わない	
90	か	狂気の沙汰	きょうきのさた		なるべく使わない	
91	か	狂女	きょうじょ	精神障害者		
92	か	狂人	きょうじん		むやみに多用しない	
93	か	漁夫	ぎよふ	漁民 漁船員 漁業 漁船乗組員	ただ「漁夫の利」が放送禁止用語である記述は確認できないため、慣用句としては使用可か	漁夫（ぎよふ）とは、互いに争っているのにつけ込んで、第三者が勞せずして利益をさらい取ること を意味し、中国の故事による言葉です。
94	か	苦力	くーりー	労働者	中国語から。特に中国・インド・アフリカ等植民地での下層肉体労働者の意	
95	か	屑屋 くず屋	くずや	廃品回収業者 資源交換業		くず屋とは、廃品回収業者のことで、日本国内に限れば戦後の在日朝鮮人の都市及びその近郊での代表的な職業の一つです。唯一どんな身分や国籍の者でも出来るとされ、籠を背負いながらリアカーを引いて「クズーおはらいー」と言いながらポロ切れ、紙くず、古新聞、鉄くずなどを集める仕事であり現地の人間から「汚い」「臭い」などと酷い罵倒を浴びせられたことから差別用語とされています。
96	か	愚鈍	ぐどん		使わない。無知で間が抜けている者の意	
97	か	首切り	くびきり	解雇 人員整理	ちなみに中国語では「イカを炒める」と言う。無職者が腹を空かせて布団にくるまるさまが、加熱して丸まったイカに見えることから	
98	か	汲み取り屋	くみとりや	清掃員 作業員		
99	か	狂う	くるう			
100	か	クロ	くろ	黒人	1988年岩波書店「ちびくろサンボ」絶版も、2005年瑞雲舎から復刊	

101	か	黒んぼ	くろんぼ	黒人	「ちびくろサンボ」が絶版になった一方で、ドラゴンボール再放送ではミスター・ポポがカットされることはなかった	
102	か	くわえ込む	くわえこむ		なるべく使わない。卑俗に聞こえるためと、慣用句として異性を連れ込む意があるからか	
103	か	クンニ	くんに		エデンの檻。2009/12/28伊集院光 深夜の馬鹿力で連呼	
104	か	群盲象をなでる	ぐんもうぞうをなでる		特別な場合以外は使わない方がよい。凡人は大事業や大人物の一部しか見えず、全体像を見渡せない意	
105	か	芸人	げいにん	芸能人	現代で一般的なのは「お笑い芸人」の略としてか	芸人とは、遊芸を職業とする人、転じて、遊芸がうまい人をさし、史的には江戸時代に定型化した庶民芸能にたずさわる専門職業人に限る場合があります。近年では本来の意味での芸人全体を構成する一部であるお笑い芸人の更に一部にすぎないはずの「お笑いタレント」のみを指して芸人と呼ぶ用法が若年層を中心に一般化しつつあり、その他は広く「芸能人」と呼ばれています。
106	か	ゲーセン	げーせん	五千円	音楽家の符丁。G(ゲー)線(音楽)→5線→5千か。高木ブーがトーク番組で使用したがお詫び・訂正はされず。一般視聴者向けの言い換え語か。アミューズメント施設の意ではない	
107	か	下女	げじょ	お手伝いさん		
108	か	血統	けっとう		結婚、就職などの文脈では注意する	血統(けっとう)とは、祖先から続いている血のつながりや血すじを意味し、「一族の血統が絶える」などの使い方がされています。しかし近年では競走馬の血統として使われることが多いのと、結婚や就職などの文脈ではタブーとされる放送禁止用語となっています。
109	か	毛唐	けとう	白人		「毛唐」とは、本来は「毛唐人(けとうじん)」といい、毛色の変った人たち、あるいは外国から来た人という意味。差別用語の一種とされることから放送禁止用語となっています。
	か	毛並み				「毛並み」とは動物の毛の生えそろっているぐあいを意味しますが、種類、質、また、俗に、血筋・家柄をさすことがあるため、放送禁止用語とされています。比喩表現、結婚、就職などの文脈ではタブーです。
110	か	下男	げなん	お手伝いさん		
111	か	健全なる精神は健全なる	けんぜんなるせいしんはけんぜんなるしんたいにやどる			
112	か	ゲンナマ	げんなま	現金 キャッシュ	現金を示す俗語。近世になってから使用されるように	
113	か	強姦	ごうかん	乱暴 暴行	刑法上は別。暴力や脅迫により意に反して性交すること。対義語は和姦	
114	か	後進国	こうしんこく	開発途上国 発展途上国		
115	か	興信所	こうしんじょ	民間調査機関 調査会社	結婚、就職などの文脈では言い換え語の使用も要注意	興信所とは、企業や個人の信用や所在、行動等について調査を行う民間の機関で、放送局や新聞社などでは「調査機関」と言い換えているようです。
116	か	業病	ごうびょう		使用に注意。悪業の報いにかかる、つらい病気の意	
117	か	鉱夫	こうふ	鉱山労働者 鉱員 坑員		鉱夫(こうふ)とは、鉱山で採掘に従事する労働者のことで、男女雇用機会均等法の影響により、現在では男だけの意味の鉱夫ではなく、鉱員と言い換えられています。

118	か	工夫	こうふ	労働者 作業員		工夫（こうふ）とは、土木や鉄道などの工事に携わる人を意味し、いわゆるブルーカラーとされていることから差別用語のひとつとされています。
119	か	坑夫	こうふ	鉱山労働者 鉱員 坑員		炭坑や鉱山で採掘作業に従事する労働者で、男女雇用機会均等法の影響により、現在では男だけの意味の坑夫ではなく、坑員と言い換えられています。
120	か	紅毛人	こうもうじん	白人		
121	か	黒人	こくじん			不必要に使わない。黒人兵→米兵。人種分類では単純に肌の色だけから区別するものではなく、例えばインド人は分類上は白人（コーカソイド）
122	か	虚仮	こけ	精神障害者		
123	か	孤児院	こじいん	児童養護施設		
124	か	乞食	こじき	ホームレス		こじきとは、食物・金銭を恵んでもらって生活する人を意味し、放送禁止用語のひとつとなっています。
125	か	小僧	こぞう	店員		小僧とは、一人前でない僧侶、修行中の者を指す語で、戒行に欠けた僧、修行が未熟な僧の意味で、私度僧の称でもありました。近世末期以降では年少男子への蔑称や、商店などの年少使用人の称にも使われるようになり、放送禁止用語のひとつとなっています。
126	か	小使い	こづかい	用務員⇒校務員		小使いとは、いわゆる学校の用務員で、旧制度では使丁(してい)・給仕と称されていました。俗に「小使い」「小使いさん」と呼ばれていましたが、差別感情がこめられたことばであることから現在では放送禁止用語となっています。
127	か	子供	こども	子ども		
128	か	小人	こびと	妖精 ドワーフ	白雪姫と7人の小人 → 白雪姫と7人のドワーフ（または妖精）	
129	か	ゴミ屋	ごみや	廃品回収業者 資源交換業		
130	か	コロシ	ころし	殺人		
131	さ	魚屋	さかなや	鮮魚商	職業名	
132	さ	ザギン	ざぎん	銀座		
133	さ	サツ	さつ	警察		
134	さ	サラ金	さらざん	消費者金融		
135	さ	サラブレッド	さらぶれっど		比喻表現に注意。サラブレッドには厳格な血統登録が行われ、1頭1頭に全て血統書が存在する	サラブレッドとは、18世紀初頭にイギリスでアラブ馬やハンター等から競走用に品種改良された軽種馬で、「〇〇界のサラブレッド」など比喩的に使われることがあります。この比喩的な使われ方は放送禁止用語とされることがあるので注意が必要です。
136	さ	三韓征伐	さんかんせいばつ	三韓出兵	3世紀、神功皇后が行った（とされる）新羅から百済・高句麗への出兵を示し、日本書紀に記述が残る	
137	さ	三国人	さんごくじん	中国人、韓国人	第二次大戦中から終戦後にかけて、日米両国に対し中国韓国を第三者として「三国」と呼称したことから	三国人は、言い換えると中国人、韓国人のことで、第二次大戦中から終戦後にかけて、日米両国に対し中国韓国を第三者として「三国」と呼称したことから差別用語とされています。
138	さ	三助	さんすけ	浴場従業員		
139	さ	産婆	さんば	助産師	助産婦→助産師	産婆（さんば）とは、助産師の旧称で、他に「取り上げばば」とも呼ばれていました。現在では放送禁止用語のひとつとなっています。
140	さ	色盲	しきもう	色覚異常		

		使丁	してい	校務員 校務主事		
141	さ	支那	しな	中国	東シナ海、南シナ海は使用可。語源はChinaと同じく“秦”から、サンスクリット語を経て音訳したもの	支那（シナ）は、中国をさす言葉で、外国人が中国を呼ぶ用語として、それなりの歴史的根拠をもっていますが、問題は、それが、戦前・戦中、日本の中国侵略と結びついて、中国にたいする侮蔑（ぶべつ）語として使用されたことであり、中国国民はこの呼称を拒否しています。
142	さ	支那人	しなじん	中国人		
143	さ	支那蕎麦	しなそば	中華そば ラーメン		
144	さ	支那竹	しなちく	メンマ	ある時期から「メンマ」呼称が一気に普及したため、世代によって他方が通じない場合がある	
145	さ	支那料理	しなりょうり	中国料理 中華料理		
146	さ	士農工商	しのうこうしょう	身分社会 階級制度		士農工商とは、江戸時代の基本的な身分制度で、もともとは中国古代に人民を4種に分けた名称であったが、日本では豊臣秀吉が兵農分離を進めていくうえで次第に成立し、江戸幕府によって確立されました。この表現は部落差別の深刻さを茶化することにつながるという主張から、1980年代以降は部落解放同盟の糾弾を受けるようになり、放送禁止用語として扱われています。
147	さ	ジブシー	じぶしー	ロマ		
148	さ	自閉症児	じへいしょうじ	自閉症の子供		
149	さ	シマ	しま	なわばり		
150	さ	地回り	じまわり	暴力団員		
151	さ	ジャップ	じゃっぷ	日本人	アメリカ等ではJapよりもNipの方が強い侮蔑を示すが、日本では一般的ではない	
152	さ	ジャリ	じゃり	子供		
153	さ	ジュー	じゅー	ユダヤ人	Jew。欧米でユダヤ人を罵っている語	
154	さ	獣医	じゅうい	獣医師		獣医とは、獣類、特に家畜の病気を治療する医師のことで、獣医だけでは放送禁止用語とされているので、「獣医師」に言い換えられています。
155	さ	周旋屋	しゅうせんや	周旋業者 土地斡旋業者		
156	さ	酋長	しゅうちょう	部族長 首長	ゲロロ酋長 → ゲロロ艦長	
157	さ	嬢	じょう	手	電話交換嬢 → 電話交換手。うぐいす嬢など愛称は別	
158	さ	障害者	しょうがいしゃ	障がい者	本来は障害者。障害競走（競馬） → ジャンプステークス	
159	さ	将棋倒しになる	しょうぎだおしになる	折り重なるように倒れる	将棋連盟からの申し入れによる。ちなみにビリヤード協会は「玉突き事故」を容認している	「群衆雪崩」 「群衆事故」
160	さ	情夫	じょうふ	愛人		情夫、情婦は、主に「情交の関係にある人」の意味で用いられる表現。特に不倫関係において特別な交わりをもった異性を指すことが多い言葉です。現在は「愛人」などと言い換えられています。
161	さ	情婦	じょうふ	愛人		情婦、情夫は、主に「情交の関係にある人」の意味で用いられる表現。特に不倫関係において特別な交わりをもった異性を指すことが多い言葉です。現在は「愛人」などと言い換えられています。
162	さ	女給	じょきゅう	ホステス ウェイトレス	給仕と同じく、時代背景から用いる場合がある	女給（じょきゅう）は、明治末から昭和初期にかけて流行したカフェで働いていた女性給仕をさします。しかし現在ではホステスやウェイトレスなどと言い換えられています。
163	さ	植物人間	しょくぶつにんげん	植物状態人間		

164	さ	女傑	じょけつ	女流 女性		女傑（じょけつ）とは、女性で特に知勇にすぐれたもの、男まさりの女性という意味で使われています。しかし性差別用語としてとらえられ、放送禁止用語のひとつとなっています。
165	さ	女工	じょこう	女子工員 女子従業員	時代背景を明確にした場合はよい	女工（じょこう）とは、女性の工場労働者や女子工員を意味します。日本の高度経済成長期を支えた女工ですが、時代背景を明確にした場合を除き、放送禁止用語となっています。
166	さ	助産婦	じょさんぶ	助産師		
167	さ	処女作	しよじょさく	第一作		処女作とは、初めて制作した、または世に発表した作品を意味しています。しかし処女を連想させるなど、性差別的な意味合いに取られがちのため、現在では「第一作目」などに言い換えられています。
168	さ	処女峰	しよじょほう	未踏峰		処女峰（しよじょほう）とは、まだ人が一度も登頂したことのない山を意味しています。しかし性差別的な意味合いがあるため、「未踏峰」に言い換えられています。
169	さ	女中	じょちゅう	お手伝いさん		女中（じょちゅう、めちゅう）とは、家庭・旅館・料亭などにおいて、住み込みで働く女性を意味します。女中の位置づけについても家事見習いから、下層階級子女（主に小作人の娘など）の雇用先という性格が強まってきました。20世紀も1950年代後半頃に差し掛かると、女性の権利意識向上の観点から放送禁止用語となり、「お手伝いさん」に言い換えられています。
170	さ	職工	しよっこう	工員 工場従業員		職工（しよっこう）とは、工場で働く労働者の意味で、いわゆるブルーカラーという職業に関する侮蔑としてとらえられることから放送禁止用語とされています。
	さ	女流作家 女流画家	じょりゅうさつか じょりゅうがか			女流作家、女流画家とは、女性の作家や女性の画家という意味で使われていますが、特に必要のあるとき以外は使わないようにされています。
171	さ	しらっこ	しらっこ	白皮症	アルビノ。萌え要素の1つにも数えられる。	
172	さ	尻拭い	しりぬぐい	後始末		
173	さ	心障児	しんしょうじ	心身障害児	略さない。やむを得ない場合「身障児」とする。	
174	さ	心障者	しんしょうしゃ	心身障害者	略さない。やむを得ない場合「身障者」とする。	
175	さ	新平民	しんへいみん		使わない。江戸期に賤民扱いされていた人々に対する明治以後の蔑称	明治4年（1871）の太政官布告によって、それまでの賤民扱いから平民に編入された人々に対する新たな差別的呼称です。そもそも差別的呼称のため、放送禁止用語となっています。
176	さ	ズージャー	ずーじゃー	ジャズ		
177	さ	スケ	すけ	女 情婦		
178	さ	すけこまし	すけこまし	漁色家 プレイボーイ		
179	さ	スチュワーデス	すちゅわーです	フライトアテンダント 客室乗務員		
180	さ	滑り止め	すべりどめ	併願校 安全校	現在でも、受験生の間では「滑り止め」は一般に用いられる	滑り止めとは、受験に際し、志望の学校に入れない場合を考え、別のところを受験しておくことを意味します。現在では放送禁止用語とされ、「併願」「安全校」と言い換えられています。
181	さ	ずらかる	ずらかる	逃げる		
182	さ	スラム	すらむ		なるべく使わない。貧民街の意	スラムとは、都市部で極貧層が居住する過密化した地区のことを意味しています。貧民街の意があることから、差別的用語としてあまり用いられません。
183	さ	正妻	せいさい		「正妻のポストを得た」など比喩的用法に注意	正妻（せいさい）とは、正式の妻また、一夫多妻制で、一番おも立った妻を意味しています。「正妻のポストを得た」など、野球のキャッチャーに例えた比喩的な使われ方をしますが、性差別的な意味合いを持つため注意が必要です。
184	さ	精神異常	せいしんいじょう	精神障害		
185	さ	精神分裂病	せいしんぶんれつびょう	統合失調症		
186	さ	精薄	せいはいく	精神薄弱児	略さない。「精神薄弱児」には侮蔑の意味はない	

187	さ	僂倂	せむし	猫背	なるべく使わない。ゲーム「悪魔城ドラキュラ」に「せむし男」が登場するが、米国版「Castlevania」では「のみ男」となっている	
		賤称語	せんしょうご			江戸時代の身分を指す「えた」「ひにん」という身分呼称を、遊びや他人を貶めるために使用すること
188	さ	鮮人	せんじん	朝鮮人	使わないこと	鮮人とは、朝鮮人を意味し、朝鮮を鮮と省略するのはすべて蔑称とされています。これは日韓併合以来の日本人の朝鮮人蔑視が根底にあるといわれています。
189	さ	潜水夫	せんすいふ	潜水作業員		潜水夫（せんすいふ）とは、潜水して水中で作業する人を意味します。現在では職業侮辱ともとらえられることから、潜水作業員や潜水土などに言い換えられています。
190	さ	千摺り	せんずり	自慰行為 オナニー	多数回男性器を摺ることから	
191	さ	線路工夫 保線工夫	せんろこうふ ほせんこうふ	保線員 保線区員		線路工夫（せんろこうふ）・保線工夫（ほせんこうふ）とは、線路を新設・増設するためにレールを敷設したり、既設のレールを補修・保全したりする仕事に従事する人のことで、現在は、鉄道の「保安係員」に言い換えられています。
192	さ	掃除婦	そうじふ	清掃作業員		掃除婦、掃除夫とは、町なかの清掃や、会社、学校などで清掃の仕事にたずさわる男女をさしています。日本の下層社会とも呼ばれ、職業差別用語として放送禁止用語となっており、清掃作業員と言い換えられています。
193	さ	掃除夫	そうじふ	清掃作業員		掃除夫、掃除婦とは、町なかの清掃や、会社、学校などで清掃の仕事にたずさわる男女をさしています。日本の下層社会とも呼ばれ、職業差別用語として放送禁止用語となっており、清掃作業員と言い換えられています。
194	さ	雑役夫	ぞうやくふ	用務員⇒校務員		
195	さ	育ちより氏	そだちよりうじ		使わない。「氏より育ち」も要注意	
196	た	第三国	だいさんごく		中国・朝鮮の意味のときは不可。「三国人」の備考に語源詳細	
197	た	代書屋	だいしょや	行政書士	直子の代筆	代書屋（だいしょや）とは、本人に代わって書類や手紙等の代筆を行う職業で、代表的なものに行政書士があげられます。戦前の行政代書人のことを一般的に「代書屋さん」と呼んでいましたが、現在は放送禁止用語の一つとされ、行政書士に言い換えられています。
198	た	台湾政府	たいわんせいふ	台湾当局	1972年日中国交樹立以後、日本政府は台湾政府を認めていないため	台湾政府という言葉は、台湾当局をさした言葉で、1972年日中国交樹立以後、日本政府は台湾政府を認めていないことはもちろん、中国政府を刺激しないために放送禁止用語としているようです。
199	た	台湾ハゲ	たいわんはげ	禿頭病		
200	た	タケノコ医者	たけのこいしゃ		なるべく使わない。“やぶ”にも満たない技術の劣る医者	
201	た	蛸部屋 タコ部屋	たこべや	窮屈な作業員宿舎		タコ部屋とは、第二次大戦前に、北海道・樺太の炭鉱などでみられた労働者の宿舎で、過酷な労働を強い、ここに入ると蛸壺(たこつぼ)の蛸のように出られなくなることが由来です。類似した状況は九州の炭田地帯にも見られ、納屋制度と呼ばれ、現在は放送禁止用語のひとつとされ、「窮屈な作業員宿舎」などに言い換えられています。
202	た	タタキ	たたき	強盗		
203	た	ダッチマン	だっちまん	オランダ人		
204	た	玉袋筋太郎	たまぶくろすじたろう	知恵袋賢太郎	NHKに出演の場合	
205	た	他力本願	たりきほんがん		「他人任せ」の意味で使うのは誤用。弥陀の本願の力に頼って成仏する意	他力本願（たりきほんがん）の本来の意味は仏の願力によって救われることですが、他人任せの意味で用いられていることが多く、そのような意味では放送禁止用語とされています。
206	た	垂れ流す	たれながす	流しっぱなしにする	公害問題は例外	

207	た	知恵遅れ	ちえおくれ	知的障害		
208	た	近目	ちかめ	近視		
209	た	血筋	ちすじ		結婚、就職などの文脈では要注意	血筋とは、「家筋」と逆に、容姿、才能、性質などの具体的な個人の資質や存在が先祖から受け継いだものであることを表わし、血統や家系同様に放送禁止用語とされています。結婚、就職などの文脈では特に注意が必要です。
210	た	チビ	ちび		使わない。ちなみに2001年に問題となったメクラチビゴミムシは改名されなかった	
211	た	痴呆症	ちほうしょう	認知症		
212	た	チャリンコ	ちゃりんこ	スリ		
213	た	チャンコロ	ちゃんころ	中国人		
214	た	中共	ちゅうぎょう	中華人民共和国 中国	中国共産党の略ならよい	
215	た	朝鮮征伐	ちょうせんせいばつ	朝鮮出兵 文禄・慶長の役	1592・1597年豊臣秀吉による李氏朝鮮への出兵	朝鮮征伐とは、朝鮮出兵 文禄・慶長の役を意味する言葉で、1592・1597年の2度、豊臣秀吉による李氏朝鮮への出兵をさしています。この言葉は韓国国民を刺激するため放送禁止用語となっています。
216	た	朝鮮人参	ちょうせんにんじん	高麗人参（こうらいにんじん）		
217	た	チョン	ちょん	韓国人		
218	た	跛	ちんぱ	足の悪い人 足の不自由な人		
219	た	釣り書き	つりがき	自己紹介書		
220	た	連れ子	つれご	お子さん	再婚に際して前夫・前妻の子供を指す。俗に「コブ」とも	
221	た	聾	つんぼ	耳の不自由な人		
222	た	聾杖敷	つんぼさじき	きこえないところ		
223	た	低開発国	ていかいはつこく	開発途上国 発展途上国		
224	た	低脳	ていのう	学習障害 学習困難		
225	た	低脳児	ていのうじ	学習障害児 学習困難児		
226	た	デカ	でか	刑事		
227	た	出稼ぎ	でかせぎ	季節労働者		出稼ぎ（でかせぎ）は、所得の低い地域や就職先の少ない地域に在住する者が、単身で、所得が高く就職先も多い地域で就労することを意味します。この「出稼ぎ」は放送禁止用語とされており、「季節労働者」に言い換えられています。
228	た	丁稚	でっち	店員		でっちとは、商家に年季奉公する幼少の者を指す言葉で、丁稚として働く（奉公する）ことを丁稚奉公と言いました。明治時代以後はいわゆる近代的な商業使用人となり、現代でも一般社員（ヒラ社員）が自嘲的に「まだ丁稚です」と比喩的に使う事もありますが、放送禁止用語のため、「店員」や「従業員」に言い換えられています。
229	た	出戻り	でもどり		使わない。結婚した女性が離婚して生家に帰る、またその人の意	
230	た	天才と狂人は紙一重	てんさいときょうじんはかみひとえ		なるべく使わない	
231	た	手ん棒	てんぼう	隻腕	片方の腕が無い人を指す	

232	た	土方	どかた	労働者・建設労働者 作業員・建設作業員		「土方」とは、土木作業員及び建築作業員の通称で、建築工事及び土木工事の土工事や地業に関わる者に対して用いられることがあります。土方と呼ばれる人々には、住所と契約などの一種の身分的不安定のイメージがついていることから放送禁止用語とされています。
233	た	特殊学級	とくしゅがっきゅう	身障児学級		
234	た	特殊学校	とくしゅがっこう	特殊教育学校	養護学校、盲・ろう学校などの総称	
235	た	特殊部落	とくしゅぶらく	同和地区		「特殊部落」とは同和地区をさす言葉とされています。同和地区とは、被差別部落を指す行政用語ですが、厳密に言えば被差別部落と同じではありません。すなわち、行政機関によって同和対策事業が必要と認められた地区に限定され、歴史的には被差別部落であっても、同和地区と認定されていないところもあります。
236	た	土建屋	どけんや	土建業者 建設業者		
237	た	土工	どこう	労働者 作業員		
238	た	床屋	とこや	理容師,図書館危機" 理髪師 理容業 理髪店"		
239	た	土左衛門	どざえもん	水死人	その様相が江戸期の力士「成瀬川土左衛門」を連想させたことから	
240	た	屠殺	とさつ	食肉解体		屠殺（とさつ）とは、食肉解体を意味し、家畜など動物を食肉・皮革などにするため殺すことです。部落問題の視点から、被差別部落民に対する差別用語であると批判されることがあり、放送禁止用語とされています。
241	た	屠殺場	とさつじょう	屠畜場		
242	た	屠殺人	とさつにん	食肉市場職員 屠畜場従業員		
243	た	どさ回り	どさまわり	地方巡業		どさ回りとは、芸能人が地方興行をして回ることを意味しています。『どさ』とは佐渡（さど）の倒置語で、江戸時代、賭博で捕まると佐渡へ島流しになったことから、賭場に役人が踏み込むことを『どさ』といました。一旦島流しになるとなかなか戻れることは出来ませんが、同様に当時の旅芸人も一旦地方へ巡業に出るとなかなか戻れなかったことが由来となっています。現在では地方巡業に言い換えられています。
	た	屠児	とじ			生類を屠（ほふ）ることを生業とした人々の呼称で「屠者（としゃ）」ともいう。
	た	屠者	としゃ			生類を屠（ほふ）ることを生業とした人々の呼称で「屠児（とじ）」ともいう。
	た	屠場	とじょう	屠畜場	解体場、食肉処理場、屠役場（とやくば）	
	た	屠人	とじん どじん		中世、近世、家畜などの獣類を殺すことを業とした人。屠者。屠手	
244	た	土人	どじん	原住民		土人（どじん）とは、律令制度の「本貫地に居住している人（土人）を意味する言葉で、「其の地に生まれ住む人。土地の人。」「原住民、現地人」、現代では「原始的生活をする、土着の人種」、土人形・土偶、「未開地域の原始的な生活をしている住民を侮蔑していった語」で、放送禁止用語となっています。
245	た	共稼ぎ	ともかせぎ	共働き		共稼ぎとは、夫婦が揃って勤めに出て家計を支えるということですが、「金を稼ぐ」という意味合いが強いため放送禁止用語とされています。そのため「共働き」に言い換えられています。

246	た	吃	どもり	言語障害者 吃音	2005/10/23「ガキの使いやあらへんで」のトークで、壊れた(?)カーナビに対して浜田「〇〇〇(ドモリ?)やないか」と発言、音声は編集された	
247	た	ドヤ	どや	犯人の隠れやすい宿		
248	た	ドヤ街	どやがい	簡易宿泊街		ドヤ街とは、日雇い労働者が多く住む街のことで、「ドヤ」とは「宿(ヤド)」の逆さことばであり、旅館業法に基づく簡易宿所が多く立ち並んでいることに起因します。現在では差別的な意味合いがあるとされ、「簡易宿泊所」に言い換えられています。
	た	屠役人	とやくにん	食肉処理場職員 屠場(とじょう)従業員	解体者、食肉処理者	屠役人とは、食肉市場職員、屠畜場従業員を意味し、部落差別を連想させる言葉とされているので放送禁止用語となっています。
	た	屠役場	とやくば	屠畜場	解体場、食肉処理場、屠場(とじょう)	「屠役場」とは、食肉処理場、屠場を意味しています。屠役場も昔から部落地域というイメージを持たれることから放送禁止用語とされています。
249	た	富山の三助	とやまのさんすけ		なるべく使わない	
250	た	トルコ嬢	とるこじょう	ソープレディ		「トルコ嬢」とは、ソープランドで働く女性を意味し、一般的に性風俗嬢をイメージさせるため放送禁止用語となっています。
251	た	トルコ風呂	とるこぶろ	ソープランド	トルコ政府の要請に加え、1984年トルコ人留学生ヌスレット・サンジャクリによる厚生省直訴により改名、一部が支持した「ロマン風呂」を抑えて定着した。	「トルコ風呂」とは、個室付き特殊浴場、通称ソープランドのことで、トルコ政府の要請に加え、1984年トルコ人留学生ヌスレット・サンジャクリによる厚生省直訴により改名、一部が支持した「ロマン風呂」を抑えて定着しました。
252	た	どん百姓	どんびやくしょう	農民 農家の人 お百姓さん		
253	な	ナオン	なおん	女 情婦		
254	な	南鮮	なんせん	大韓民国 韓国		
255	な	南部の鮭の鼻まがり	なんぶのしゃけのはなまがり		なるべく使わない。産卵期に鮭の鼻が曲がる特性と、南部人(盛岡)がヘソ曲がりなのを掛けた語	
256	な	ニガー	にがー	黒人		
257	な	ニグロ	にぐろ	黒人		
258	な	二号	にごう	愛人		二号とはその名のおり本妻を一号に見立てた言葉で、「めかけ」とも呼ばれています。人間に番号を付けて呼ぶことは人権的に問題があるとして放送禁止用語になり、「愛人」などの言い換えられています。
259	な	ニコヨン	にこよん	自由労働者 日雇い労働者	職業安定所からの定額給が240円(100円2個と40円)だったことから	ニコヨンとは、かつて、日雇労働者を意味して用いられた俗語で、東京都が1949年に定めた日雇労働者の定額日給が240円であり、百円札が2枚(2個)と、十円札が4枚であったことに由来しています。現在は日雇い労働者、自由労働者などに言い換えられています。
260	な	日本のチベット	にほんのちべつと	過疎地帯 辺地 高山地帯	現在チベットは急速に開発が進み、2006年には鉄道としては世界最高地点(海拔5072m)を通りゴルムドとラサを結ぶ「青蔵鉄道」が開通	
261	な	人足	にんそく	労働者 作業員		人足(にんそく)とは、荷物の運搬や普請などの力仕事に従事する労働者のことで、現在では放送禁止用語として「労働者」と言い換えられています。
262	な	人非人	にんびにん	人でなし		

263	な	人夫	にんぶ	労働者 作業員		「人夫」とは、力仕事に従事する労働者を意味します。いわゆる「ブルーカラー」に近いイメージがあり、「頭脳労働ができないために身体を使って働くしかない者」「下賤（げせん）な仕事」「単純労働」といった差別的なイメージを伴うことがあることから放送禁止用語とされています。
264	な	猫糞	ねこばば		なるべく使わない	
265	な	農夫	のうふ	農民 農業 農家		農夫（のうふ）とは、農業に従事する男性のことで、現在では農業従事者、農家の人、お百姓さんなどに言い換えられています。
266	な	脳膜炎	のうまくえん	精神障害者		
267	な	ノビ	のび	空き巣		
268	は	ハーフ	はーふ	混血 混血人	ヒョウとライオンの混血は「レオポン」。また言い換えに「ダブル」とも	
269	は	パーマ屋	ぱーまや	美容院		
270	は	馬鹿チョンカメラ	ばかちゃんカメラ	オートマチックカメラ 全自動カメラ	「馬鹿でもチョンと押せば写せるカメラ」が説としては有力か	
271	は	馬鹿でもチョンでも	ばかでもちゃんでも		なるべく使わない。チョンは朝鮮人に対する蔑称	
272	は	白痴	はくち	精神障害者		
273	は	バク	ばく	逮捕する		
274	は	馬喰	ばくろう	家畜仲買人		
275	は	端女	はしため		うみねこのなく頃にから。召使いの女の意	
276	は	肌色	はだいろ	ペールオレンジ うすだいたい		
277	は	バタ屋	ばたや	廃品回収業者 資源交換業		バタ屋とは、ごみ箱や道路上で紙くず・ぼろ・金物などの廃品を回収して生活する人をさします。このバタ屋も放送禁止用語となっており、現在では廃品回収業と言い換えられています。
278	は	発狂する	はつきょうする	気が狂う		
279	は	馬丁	ばてい	馬手 厩務員	明治からの賤業としての「馬丁」が連想される。競馬法では馬丁のまま	馬丁（ばてい）とは、馬の世話をする人で、馬子(まご)とも呼ばれています。また、馬の口取りをする人をさします。現在では馬手、厩務員、乗馬クラブでは馬取扱者と言い換えられています。
280	は	バン助	ばんすけ	娼婦		
281	は	番太	ばんた		どうしても必要な場合「番小屋の〇〇」というようにする	
282	は	半島人	はんとうじん		使わないこと	
283	は	飯場	はんば	作業員宿舎		飯場（はんば）とは、日本において鉱山労働者や大規模な土木工事や建築現場での作業員用の給食および宿泊施設のことを意味しています。清潔感などに欠ける表現であるため放送禁止用語とされ、「作業員宿舎」などに言い換えられています。
284	は	引かれ者	ひかれもの		なるべく使わない。刑場に引かれていく罪人の意か	
285	は	跛	びっこ	足の悪い人 足の不自由な人		
286	は	非人	ひにん		使わない。江戸期、えたとともに賤民視された人々の呼称	「非人」とは、日本中世の特定職能民・芸能民の呼称であり、次第に被差別民の呼称となりました。いわゆる土農工商には属さないが、公家や医師や神人等と同様にあくまでも身分制度上の身分とされ、人別帳の枠内にあります。ひにん身分は今でいう罪人で、殺人や事件を起こし、身分を下げられた人。良いことをしたら普通の身分に戻る。

287	は	ヒモ	ひも	関係ある男	女に金品を貢がせて生活する男を指す俗語	
288	は	百姓	ひやくしょう	農民 農家の人 お百姓さん	NHKで農業従事者が自分のことを「百姓」と言い放送事故になったとも	百姓（ひやくしょう）とは、農業従事者（農家、農民）の事を指す言葉で、あかぬけない人や情趣を解さない人に対する侮蔑語として使われることがあります。この場合は放送禁止用語となります。
289	は	日雇い	ひやとい	自由労働者		
290	は	貧農	ひんのう	貧しい農民		
291	は	醜男	ぶおとこ	器量の悪い男		
292	は	不可触民	ふかしょくみん	ハリジャン	インドのカースト制におけるカースト外の身分	不可触民（ふかしょくみん）とは、カースト制度（ヴァルナ・ジャーティ制）の外側にあつて、インドのヒンドゥー教社会における被差別民をさします。ダリットから有力政治家が輩出されている一方で、憎悪犯罪による殺傷を含めた差別が現存しており、日本においても放送禁止用語とされ、「ハリジャン」に言い換えられています。
293	は	不具	ぶぐ	身体障害者		
294	は	父兄	ふけい	父母 保護者		
295	は	不治の病	ふじのやまい	治りにくい病気 難病		
296	は	ブス	ぶす		使わない	
297	は	ブタ箱	ぶたばこ	留置場		
298	は	ブツ	ぶつ	盗品		
299	は	踏切番	ふみきりばん	踏切警手 踏切保安係	保安係を必要とする踏切は第1種乙・第2種があるが、第2種は国内に既に無く第1種乙も数少ない	鉄道線路の踏切で列車の安全な運行をはかるため、遮断機の上げ下げをしたり、人や車両の通行を見張ったりする人をさします。言葉自体が侮辱を意味しているとされ、現在は「踏切保安係」と言い換えられています。
300	は	ブライントタッチ	ぶらいんどたち	タッチタイピング		
301	は	部落	ぶらく	集落 地区		「部落」とは、集落や地区を意味する言葉で、被差別部落をイメージさせることから放送禁止用語のひとつとされています。
302	は	浮浪児	ふろうじ	ホームレスの子供		浮浪児と呼ばれた子どもの大半は戦争孤児で、学童疎開中に空襲で家族を失った子もたくさんいました。だれも食べさせてくれないため、盗みを働くほかなく、不潔だ、不良だと白い目でみられています。現在ではもちろん差別用語として放送禁止用語のひとつとなっています。
303	は	浮浪者	ふろうしゃ	ホームレス	日本語には浮浪者の適切な言い換えが無く、英語から代用している	浮浪者とは、定まった住居や職業を持たず、あちこちさまよい歩く者をさします。この言葉は差別用語的な意味合いがあり、放送禁止用語とされ、「ホームレス」に言い換えられることがあります。
304	は	ベイ患	べいかん	麻薬患者		
305	は	ベイ中	べいちゅう	麻薬中毒		
306	は	坊主	ぼうず	僧侶 お坊さん	坊主頭→丸刈り	「坊主」とは、「房主」と書くのが本来で、始めは僧房の主（あるじ）のこと、つまり一坊の主としての住持や住職のみを指していました。これに対して十分な経験を持ちながら、特定の房（坊）を持たない僧侶を法師と称して区別しています。この「坊主」も放送禁止用語で、「坊さん」に言い換えられています。
307	は	北鮮	ほくせん	朝鮮民主主義人民共和国 北朝鮮		「北鮮」とは、第二次世界大戦後においては、北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）の略語として使用された言葉で、現在は北朝鮮を刺激することから放送禁止用語とされています。
308	は	ポコベン	ぽこべん	中国人	ポコベン人→ベコボン人（ケロロ軍曹）。中国語の「不句多本 bu gou ben」（金額が足りない）から。かつて日中貿易の際、中国人商人がよく用いたことから	

309	は	保線工夫 線路工夫	ほせんこうふ せんろこうふ	保線区員 保線作業員		保線工夫（ほせんこうふ）・線路工夫（せんろこうふ）とは、線路を新設・増設するためにレールを敷設したり、既設のレールを補修・保全したりする仕事に従事する人のことで、現在は、鉄道の「保安係員」に言い換えられています。
310	は	ポッポー屋	ぽっぽーや	鉄道員		
311	は	保母	ほぼ	保育士	保母・保父→保育士 ロリコンの神様、宮崎駿は保育園を経営している。	
312	は	ポリ公	ぼりこう	警察官		
313	は	本腰を入れる	ほんごしをいれる		卑俗な感じを持つ人もあるので、注意して使う	
314	は	ぼん引き ボン引き	ぼんびき	客引き		ボン引き（ボンびき）は、田舎者や旅行者など土地不案内な人に対して、甘言で金を巻き上げたり、売春などを斡旋するものを言います。売春婦が従順であることを保つために虐待的であるか、または薬物中毒にするなどの行為が行われていたことから放送禁止用語とされ、「客引き」などに言い換えられています。
315	は	ほんぼし	ほんぼし	真犯人		
316	ま	まえつき	まえつき	前歴つき	執行猶予は前科にならない	
317	ま	魔女っ子	まじょっこ	魔法少女	「悪魔のような子供」の意	
318	ま	股に掛ける	またにかける		なるべく使わない	
319	ま	町医者	まちいしゃ	開業医		
320	ま	マンコ	まんこ	女性器	ちんこは禁止されず。また「ほーみ」「べちょこ」「おめこ」など方言も禁止されていない。「ばか！ばか！まんこ！」	
321	ま	満州	まんしゅう	中国東北部（旧満州）	満州事変→柳条湖事件	
322	ま	未開人	みかいじん	原住民		
323	ま	未開発国	みかいはつこく	発展途上国 開発途上国		
324	ま	三つ口	みつくち		なるべく使わない。口唇裂の俗称	
325	ま	身分	みぶん		使用箇所により注意	
326	ま	未亡人	みぼうじん		「故〇〇氏の夫人」というように置き換える	
327	ま	身元調査	みもとちょうさ		なるべく使わない	
328	ま	婿をとる	むこをとる		なるべく使わない	
329	ま	娘を片付ける	むすめをかたづける		なるべく使わない	
330	ま	名門校	めいもんこう		なるべく使わない。野球放送などで「名門〇〇校」などという場合はあまり抵抗はない	
331	ま	妾	めかけ	愛人		めかけは、婚姻している男性が、妻の他に、性的関係を持ち生活の面倒を見ている女性のことで、放送禁止用語とされ、「愛人」に言い換えられています。
332	ま	盲	めくら	視力障害者 目の不自由な人		
333	ま	盲縞	めくらじま		なるべく使わない。木綿平織物の一種	
334	ま	盲判を押す	めくらばんをおす	ろくに見ないで判を押す		
335	ま	盲蛇に怖じず	めくらへびにおじず		なるべく使わない。無知な者が無知である故に無鉄砲な振る舞いをする意	
336	ま	盲滅法	めくらめっぽう	やみくも	なるべく使わない。無闇に事を行うさま	
337	ま	めっかち	めっかち		片方の目しか見えない人のこと	

338	ま	盲愛する	もうあいする	むやみに可愛がる		
339	ま	蒙古症	もうこしょう	ダウン症		
340	ま	盲人	もうじん	目の不自由な人 視覚障害者	「盲人用信号」の表記は地域によっては残っている	
341	ま	盲目	もうもく	分別に欠ける 理性がない	比喩的表現の場合	
342	ま	文盲	もんもう	字の読めない人 非識字者	中国では同義の「文盲wenmang」を現在でも使用しているとされる	
343	や	ヤー様	やーさま	やくざ		
344	や	八百屋	やおや	青果業 青果商 八百屋さん		
345	や	役不足	やくぶそく	力不足	「役に対して自分の能力が余りある」の意。「役に対して自分の能力が足りない」は力不足	
346	や	やさぐれ	やさぐれ	愚連隊		
347	や	ヤバい	やばい	危ない 危険だ		
348	や	藪医者	やぶいしゃ		なるべく使わない。診療能力の劣った下手な医者 の意	
349	や	藪脱み	やぶにらみ	斜視 見当違い		
350	や	ヤンキー	やんきー	アメリカ人	アメリカ人、特に米国北東部住民に対する俗称・別称	
351	や	ヤンキー	やんきい	不良行為少年 不良少年	原義は河内弁話者に対する蔑称。「『やんけ』言 い」が転じて。アメリカ人を示すヤンキーとは関連 しない	
352	や	郵便夫	ゆうびんふ	郵便集配人 郵便配達人		郵便夫とは、郵便を集配する男性を意味し、2004年に郵便集配員、郵便配達員に改称されています。 そのため、郵便夫は現在では放送禁止用語になっています。
353	や	郵便屋	ゆうびんや	郵便配達員 郵便屋さん		
354	や	養護	ようご		心身障害者の意	
	や	用務員	ようむいん	校務員 校務主事		用務員は、学校で環境の整備などの用務に従事する職員のこと、旧制度では使丁(してい)・給仕と称 されていました。使丁(してい)・給仕は放送禁止用語として定着していましたが、用務員も近年ではそ れに近くなり、「校務員、校務主事」に言い換えられています。
355	や	養老院	ようろういん	老人ホーム 老人養護施設		
356	や	寄せ場	よせば		「人足寄せ場」の意。人足寄せ場とは江戸期に設け られたホームレス収容・職業訓練所	寄せ場（よせば）とは、日雇い労働の求人業者と求職者が多数集まる場所のことで、寄り場ともいい ます。また、ヤクザの用いる隠語では刑務所のことを指します。そのため、放送禁止用語とされ、特 定の地区の形容に使うのはタブーとされています。
357	や	ヨツ	よつ		四本指のジェスチャーを行うことや、四本指のキャ ラクターを描くことも要注意	
358	や	四つ足	よつあし		なるべく使わない。被差別部落を連想させる文脈で は不可。四つ。関西地方で強く残るとも	

359	や	四つ辻	よつつじ	十字路		
360	や	嫁にやる	よめにやる		なるべく使わない	
361	や	寄目	よりめ	斜視		
362	ら	癩病	らいびょう	ハンセン病		
363	ら	ルンペン	るんべん			
364	ら	令嬢	れいじょう	娘	不必要な所に使うと逆差別になる	
365	ら	レントゲン技師	れんとげんぎし	診療放射線技師 診療エックス線技師	「診療エックス線技師」は旧制度の資格で、保持者は少数	
366	ら	老婆	ろうば	老婦人 老女	老女は非常に嫌がられる	
367	ら	労務者	ろうむしゃ	労働者		労務者とは、一定の雇用契約を結んで主に肉体労働に従事する人を意味し、これも放送禁止用語とされ、「労働者」に言い換えられています。
368	ら	露助	ろすけ	ロシア人		
369	ら	ロンパリ	ろんぱり	斜視	一方の目でロンドンを見、他方の目でパリを見るような様を侮蔑して 「ひんがら目」とも	